

# 新聞記事を活用して、思考力・判断力・表現力を高める児童の育成

宮崎市立生目小学校

教諭 柏田 千穂子

## 1 はじめに

本校は昨年度N I E実践指定校となり、今年度で2年目である。昨年度は単学級の取組として、家庭科の学習に新聞記事を取り入れながら読み合う活動を展開してきた。今年度は学校全体の取組としてN I E教育を広げることを通して学年の実態に応じて新聞に慣れ、親しみ、主体的に学ぼうとする態度の育成を図ることや思考力・判断力・表現力を更に高めることを目標に、実践に取り組むことにした。

## 2 実践の概要

(1) 各学年部の実践の概要は以下の表の通りである。

学年部	教科	実践の概要
低学年部	国語科	「新聞写真でお話を考えよう」 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 新聞記事の写真を切り取る。</li><li>・ 模造紙に写真を貼り、吹き出しを書く。</li><li>・ 写真に合った話を吹き出しに書く。</li></ul>
中学年部	国語科	「読み取った記事について話し合おう」 <ul style="list-style-type: none"><li>・ ひとつの記事を読み取り、自分の考えを書く。</li><li>・ 友達と読み取った考えを見せ合い、話し合う。</li><li>・ もう一度その記事について考えを書く。</li></ul>
高学年部	社会科 家庭科	「学習したことを新聞形式でまとめよう」 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会科及び家庭科では授業内容に合った新聞記事を読み、学習したことや発展的に考えたことを新聞形式のワークシートにまとめる。</li><li>・ まとめた後、発表会を開き感想を伝え合う。</li></ul>

## 3 低学年部と高学年部の実践内容

(1) 低学年部の国語科における実践内容

1年生(合計100名)、2年生(合計96名)を学年ごとに国語科の1単位時間を使った。5年生児童は、総合的な学習の時間のボランティア活動の一環として、低学年に教える学習形態で実践した。

① ア 単元名 新聞写真でお話を考えよう

イ 単元の目標

○ 新聞記事の写真から読み取ったことや感じたことを、吹き出しに会話形式で書くことができる。

～関連：国語科学習指導要領解説 B「書くこと」ア、才言語活動例ア、エ～

ウ 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点及び評価	資料準備
つかむ 5分	1 新聞記事の写真をつかって吹き出しに会話形式で書いた5年生の作品を見る。 2 めあてをつかむ。	○ あらかじめ、5年生が作った作品を見せることで、本時学習に取り組む内容を2年生に具体的に理解させる。	5年生が作った作品数点
<b>しんぶんきじのしゃしんをつかって、おはなしをつくろう。</b>			
ひるげ 30分	3 作品を作る上での注意点を確認する。 ・吹き出しは大きめに書くと話を書きやすい。 ・書く方向は、右から縦に書く。 ・自由に想像してお話を書いていいが読む人が嫌な気分になる内容は書かない。 ・写真を貼る方向は自由である。 ・分からないことがあったら、担当の5年生に尋ねる。 4 クラスごとに、担当の5年生が低学年に自己紹介をする。 5 各クラス担当の5年生と一緒に新聞記事の写真を切り取って模造紙に貼り付け、会話を考える。 <b>【思考力・判断力の育成】</b> 6 活動途中で、他のクラスの状況を見て回り、感想を伝え合った後、再び活動に入る。 <b>【表現力の育成】</b>	○ 相手意識をもちながら書かせるために、注意点をあらかじめ確認させておく。 ○ ひとクラスに、5年生の児童9人程度を組ませ、5年生が作業の説明、手順を手伝いながら活動させる。 ○ ひとクラスに模造紙2枚を用意し、作品を書かせていくが、進行状況を見ながら模造紙の数は調整する。 ○ 活動途中で、各クラスの進行状況を児童自身が確認するために見回る時間を確保し、興味関心を更に高めていきたい。	新聞紙裏張りした模造紙 はさみのり 筆記用具
まとめる 10分	7 完成した作品を見て回る。 8 本時学習の反省を振り返りシートに記述する。 9 数名の児童が感想を言う。 <b>【表現力の育成】</b> 10 各クラス担当の5年生と挨拶を交わし、本時学習を締めくくる。	○ 書いた作品を読み合い、よいところを見つけさせ、感想を伝え合わせる時間を確保する。 ○ 本時学習を振り返らせるために、ワークシートを用意し、記述させる。その結果は、今後の活動に生かしていきたい。	



←【新聞の写真の吹き出しに書き込む  
低学年児童：写真①】

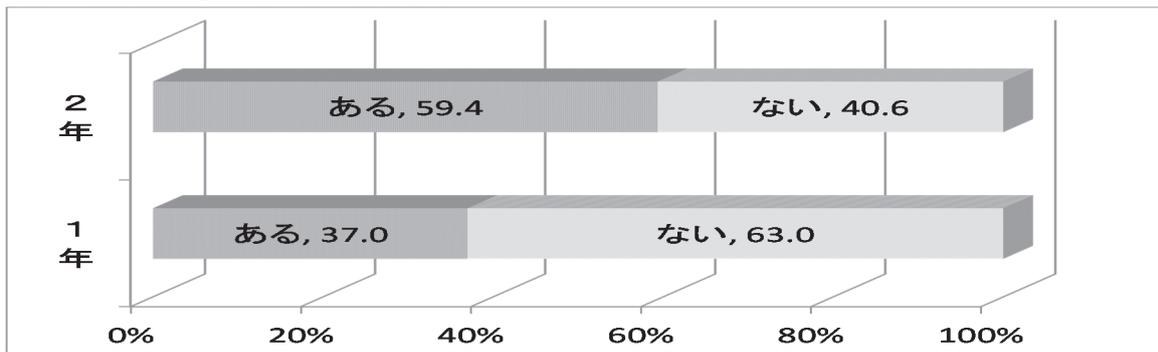


【出来上がった作品の一部：写真②】 →

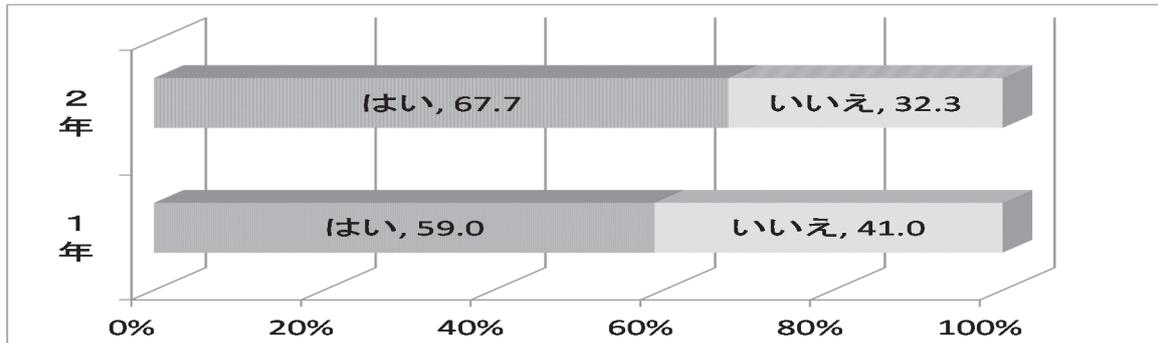
エ 低学年部の児童の変容

5年生との学習後にアンケートを取り、変容を分析してみた。

① 家で新聞を読んだことがありますか



②これから新聞を読みたいと思いますか



グラフの結果から設問①では、1年生はこれまで新聞を読んだことがない児童が約6割を占めていた。逆に、2年生は読んだことがある児童が約6割を占めていた。設問②では、どちらの学年も今後新聞を読みたいと考える児童が半数を上回る数値だった。

また、感想欄には「話を考えて書くことが楽しかった。」「写真に合った言葉を書くことは難しかったけど、話が書けたときはうれしかった。」「友達と言葉を考えることが楽しかった。」等の感想が多く、関心の高さが感じられた。以上のことから、この学習活動は低学年児童にとって新聞に慣れ親しむ機会となり、写真に合った言葉を友達と考え合い、出来上がった作品に対して感想を述べ合うことで思考力や判断力、表現力を高める場ともなったといえる。

